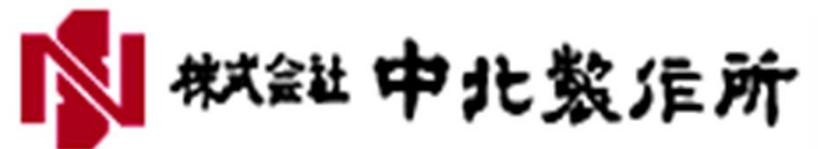




# 平成28年5月期第2四半期 決算説明会

東証2部 6496



<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成28年1月27日 大阪



- I. 会社概要
- II. 平成28年5月期第2四半期 実績
- III. 平成28年5月期 見通し
- IV. 今後の展望
- V. コーポレートデータ



# I . 会社概要



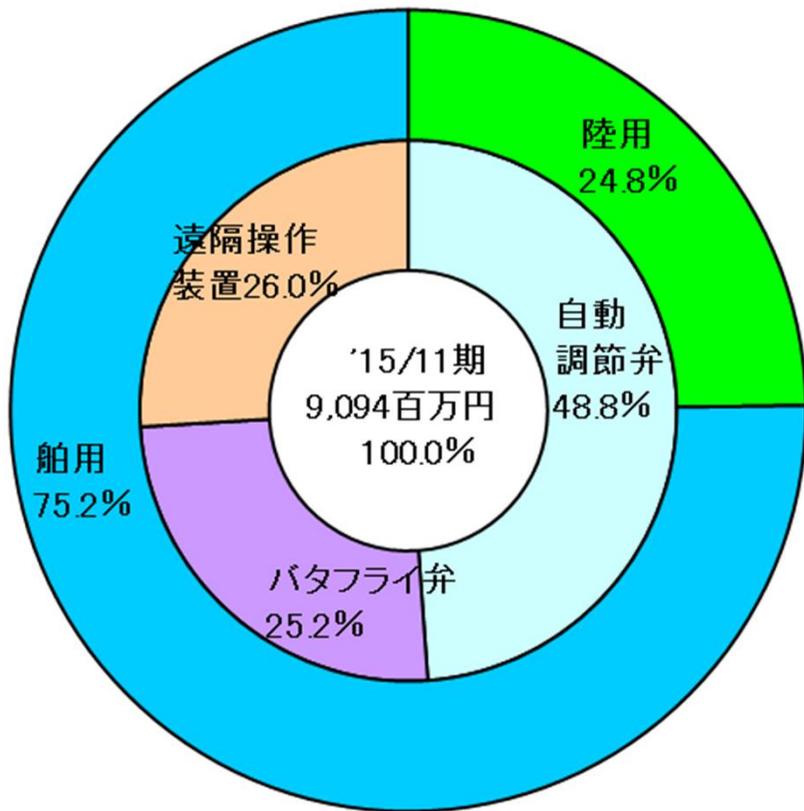
# 1.概要

会社名	株式会社中北製作所
代表者	中北 健一
所在地	大阪府大東市
設 立	1937年5月
資本金	1,150百万円
事業内容	自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置製造
従業員数	335名(2015年11月末現在)



## 2. 事業内容

当社は船舶や火力発電等の陸上プラント向けに、流体の自動制御システムとして下記の品種を全品受注生産により供給している



品種別用途

陸船別	用途		品 種		
			自動調節弁	バタフライ弁	遠隔操作装置
船舶用	カーゴライン	タンカー		◎	◎
	バラストライン	全船種		◎	◎
	機関室	全船種	◎		
陸用	発電プラント	火力発電	◎	○	
		原子力発電	◎	○	
		ガスタービン発電	◎	○	
	その他	ケミカルプラント等	○	○	

# 3. 製品

## 船用製品(自動調節弁・バタフライ弁・遠隔操作装置)



中小型船舶から原油運搬用の大型タンカー、さらに環境にやさしい天然ガスを運搬するLNG船まで、船舶輸送を支えているのは中北ブランドです。

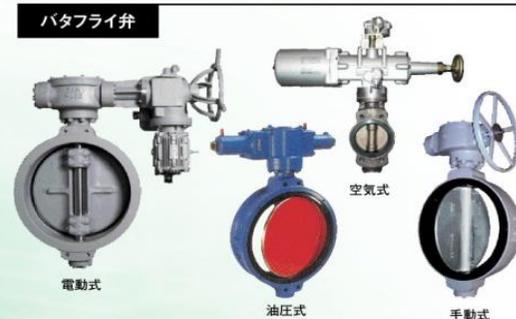
中北製作所の製品は船舶用にも多く使用されており、バラ積み船、タンカー、LNG船などの幅広い分野の船舶においてカーゴ及びバラストラインのバタフライ弁をコントロールパネルから遠隔操作し、船体姿勢制御や荷役制御のサポートをしています。また、船舶用エンジンに関わる燃料油加熱装置や主機清水冷却装置、主機潤滑油冷却装置などで、燃料油の温度を一定に制御することやエンジンの冷却水制御、エンジンに冷却した潤滑油を送り込むといった大切な役割も担っています。

【船舶を支える中北ブランド】  
Ships Supported by NAKAKITA Brand

### カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム



### バタフライ弁



### 液面指示装置



### LNG船



### 自動制御機器(機関室・ボンブルーム)

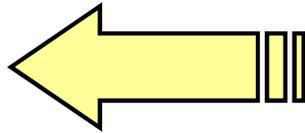
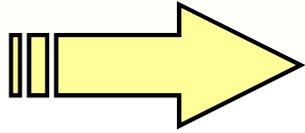




# 船舶におけるワンストップ・ソリューション

- 遠隔操作装置、バタフライ弁、機関室用調節弁を一括製造しているメーカー
- 品質の信頼性ときめ細かなアフターサービス体制

お客様



中北製作所

一括製造販売・アフターサービス



流体制御システム製品

遠隔操作装置

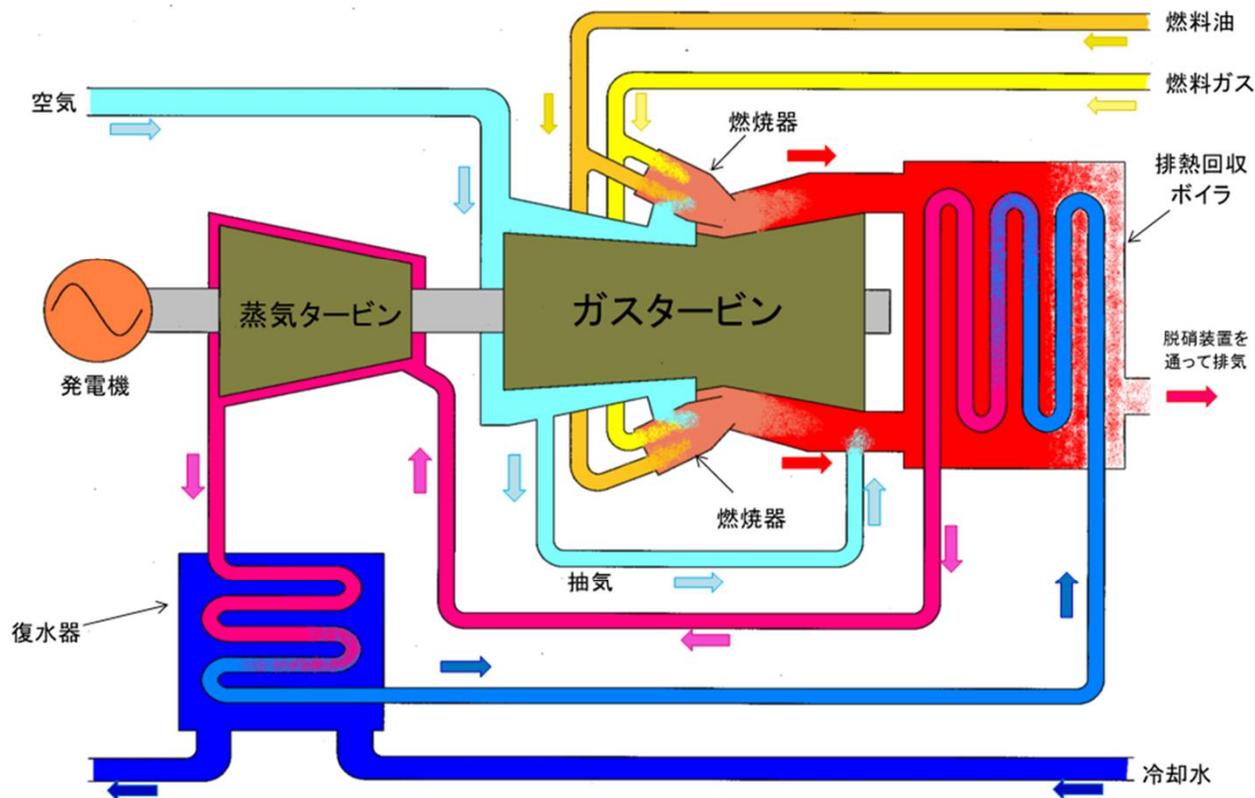
バタフライ弁

自動調節弁





# ガスタービンコンバインドサイクル火力発電所用制御弁



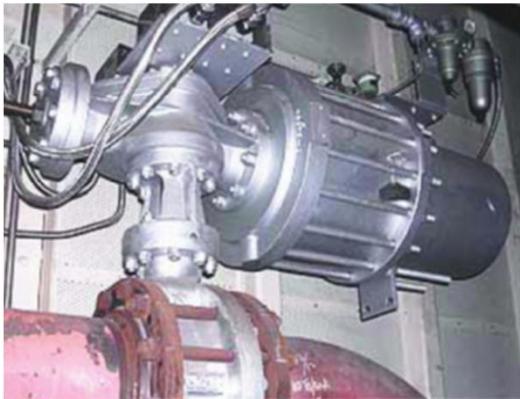
燃料ガス制御弁



燃料ガス遮断弁



燃料ガス温度制御弁



コンプレッサ抽気弁



20連ボール弁



パージエアON/OFF弁



潤滑油圧力制御弁

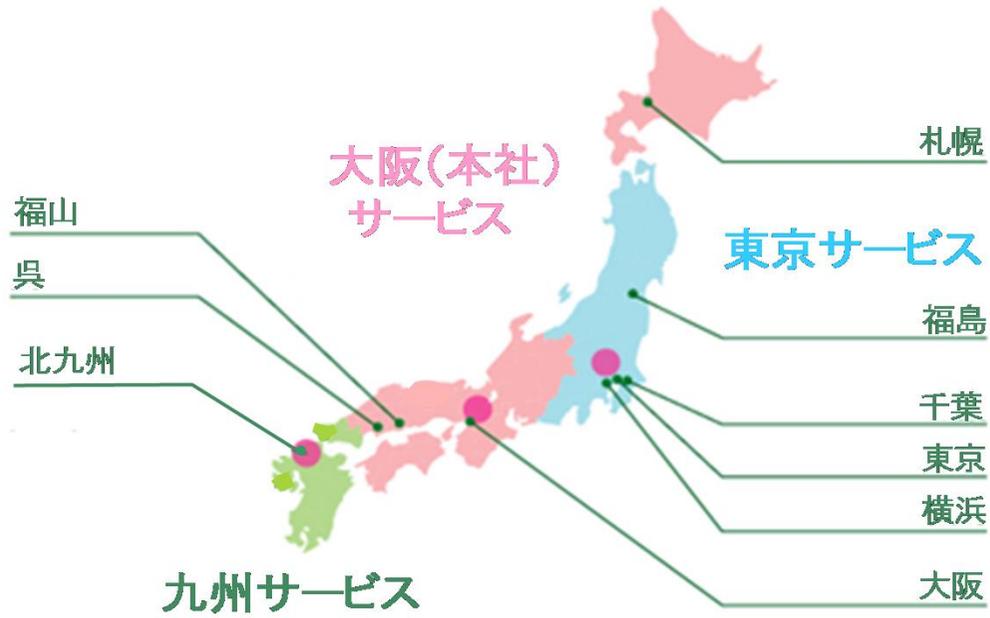


潤滑油温度制御弁

# サービス網



## 国内サービス網



## 本社



## 海外サービス網



## 4.中北製作所の特徴と強み～まとめ～

- 1.高品質・多種多様なバルブを最新の生産技術と管理技術を駆使して生産
- 2.顧客のニーズに対応した完全受注生産
- 3.船舶用のバルブはハード面だけでなくコントロールシステムまでを一括生産
- 4.技術サポート、メンテナンスなど製品ライフサイクルの全てに対応
- 5.国内のほとんど全ての発電所に納入実績を持ち陸上発電プラントにも強み
- 6.省エネ環境船や次世代高効率発電システム等、急進する技術革新に対処し、顧客ニーズに即した製品開発
- 7.高度な品質管理体制に基づき、全製品の全数製品検査の実施並びに極低温・高温環境での実証試験環境の整備



## Ⅱ. 平成28年5月期第2四半期 実績



# 1. 概要

単位：百万円、%、円

	14/11	15/11	前年同期比		15/11 期初計画	同期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	8,188	9,094	906	11.1	8,000	1,094	13.7
営業利益	417	509	92	22.1	340	169	49.9
経常利益	518	610	92	17.8	430	180	42.1
中間純利益	323	393	69	21.5	290	103	35.6
一株当たり中間純利益	17.12	20.87			15.34		
一株当たり配当金	10.00	10.00			10.00		
総資産	25,328	25,828					
純資産	19,380	19,654					

■ 船用関連で海外向も含め短納期品の受注を取り込み、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益は  
 期初計画を上回った。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位:百万円、%

	14/11	15/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,372	4,361	▲11	▲0.3
バタフライ弁	1,905	2,251	345	18.1
遠隔操作装置	1,962	2,317	355	18.1
生産高合計	8,240	8,930	689	8.4

受注高

	14/11	15/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,145	4,441	296	7.2
バタフライ弁	2,143	3,294	1,151	53.7
遠隔操作装置	2,264	2,780	515	22.8
受注高合計	8,553	10,516	1,963	23.0

受注残

	14/11	15/11	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	4,326	4,128	▲197	▲4.6
バタフライ弁	2,824	4,796	1,972	69.8
遠隔操作装置	3,104	4,346	1,241	40.0
受注残合計	10,254	13,271	3,016	29.4

### ■生産高(前年同期比8.4%の増)

生産高は、バタフライ弁、遠隔操作装置が共に前年同期比18.1%増加し、全体では同8.4%の増加となった。

### ■受注高(同23.0%の増)

船用関連が順調に推移し、バタフライ弁が前年同期比53.7%、遠隔操作装置が22.8%と大幅に増加し、全体では同23.0%の増加となった。

### ■受注残(同29.4%の増)

主に船用関連の受注増加を背景に、受注残高は前年同期比29.4%の増加となった。



### 3.部門別売上高

単位：百万円、%

	14/11	15/11	15/11		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	4,345	4,441	96	2.2	48.8
バタフライ弁	1,893	2,292	399	21.1	25.2
遠隔操作装置	1,950	2,360	410	21.0	26.0
合計	8,188	9,094	906	11.1	100.0

単位：百万円、%

	14/11	構成比	15/11	15/11		
				増減	同率	構成比
陸用	2,629	32.1	2,255	▲374	▲14.2	24.8
船用	5,558	67.9	6,839	1,281	23.0	75.2
合計	8,188	100.0	9,094	906	11.1	100.0

■船用関連で短納期品の受注の取込みもあり、バタフライ弁が前年同期比21.1%、遠隔操作装置が同21.0%とそれぞれ増加し、全体では同11.1%の増加となった。

■陸用は前期に比べ、374百万円減少(前年同期比14.2%減)したが、船用は、1,281百万円増加(同23.0%増)し、船用が陸用の落込みをカバーし、全体では906百万円増加(同11.1%増)となった。



## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	14/11	15/11	15/11		
			増減	同率	構成比
国内	6,623	7,442	819	12.4	81.8
韓国	372	508	136	36.6	5.6
中国(香港)	1,004	858	▲146	▲14.5	9.4
その他	188	285	96	51.5	3.2
合計	8,188	9,094	906	11.1	100.0
輸出比率	19.1	18.2	▲0.9		

- 主に船用関連が前期に比べて好調で、国内向は前年同期比12.4%、韓国向は、同36.6%の増加となったが、中国向は、陸用の落込みが大きく影響し、同14.5%の減少となった。
- 輸出比率は18.2%で同0.9%の減少となった。



## 5. 損益計算書

単位：百万円、%

	14/11		15/11			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	8,188	100.0	9,094	906	11.1	100.0
売上原価	6,939	84.7	7,713	774	11.2	84.8
売上総利益	1,249	15.3	1,381	131	10.6	15.2
販売費・一般管理費	831	10.2	871	39	4.8	9.6
営業利益	417	5.1	509	92	22.1	5.6
営業外損益	101	1.2	101	0	0.1	1.1
経常利益	518	6.3	610	92	17.8	6.7
特別損益	—	—	—	—	—	—
税引前中間純利益	518	6.3	610	92	17.8	6.7
法人税等	195	2.4	217	22	11.5	2.4
中間純利益	323	4.0	393	69	21.5	4.3

■売上高は対前年同期比11.1%の増加。

■利益面では、主に船用関連の売上増加に伴い、営業利益は対前年同期比22.1%、経常利益は同17.8%、中間純利益は同21.5%の増加となった。



## 6. 貸借対照表

単位：百万円

	15/5	15/11	増減	主要増減要因
流動資産合計	19,348	18,878	▲469	
現金・預金	5,683	6,345	661	
売上債権	7,472	6,992	▲480	
棚卸資産	3,754	3,799	45	
その他	2,437	1,740	▲696	短期運用 ▲697
固定資産合計	5,998	6,950	951	
有形固定資産	3,229	3,192	▲36	減価償却 135 投資 95
無形固定資産	20	16	▲3	
投資その他の資産	2,748	3,740	992	長期運用 1,006
資産合計	25,346	25,828	481	
流動負債合計	3,598	3,962	363	
支払手形・電子記録債務・買掛金	2,919	3,144	225	
その他	678	817	138	
固定負債合計	2,231	2,211	▲20	
負債合計	5,829	6,173	343	
純資産合計	19,516	19,654	138	
負債・純資産合計	25,346	25,828	481	



## Ⅲ. 平成28年5月期見通し



# 1. 概要

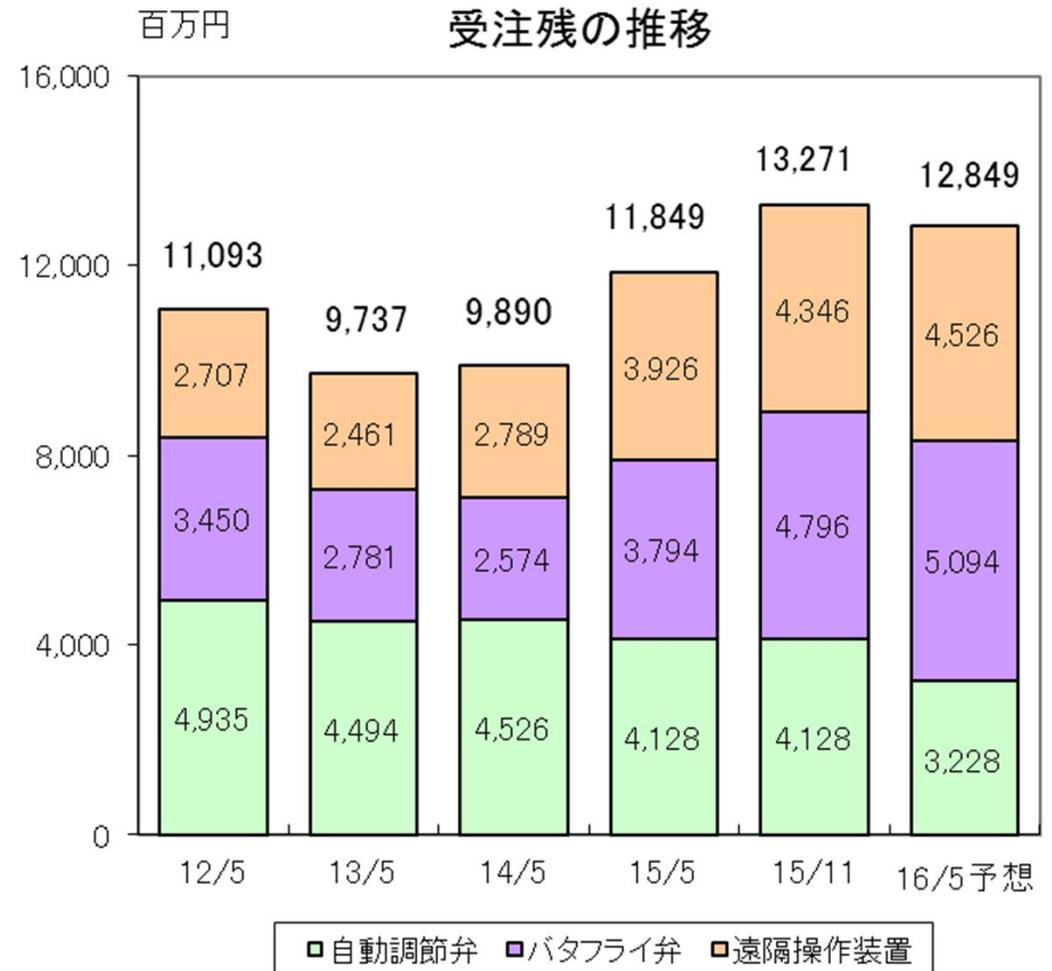
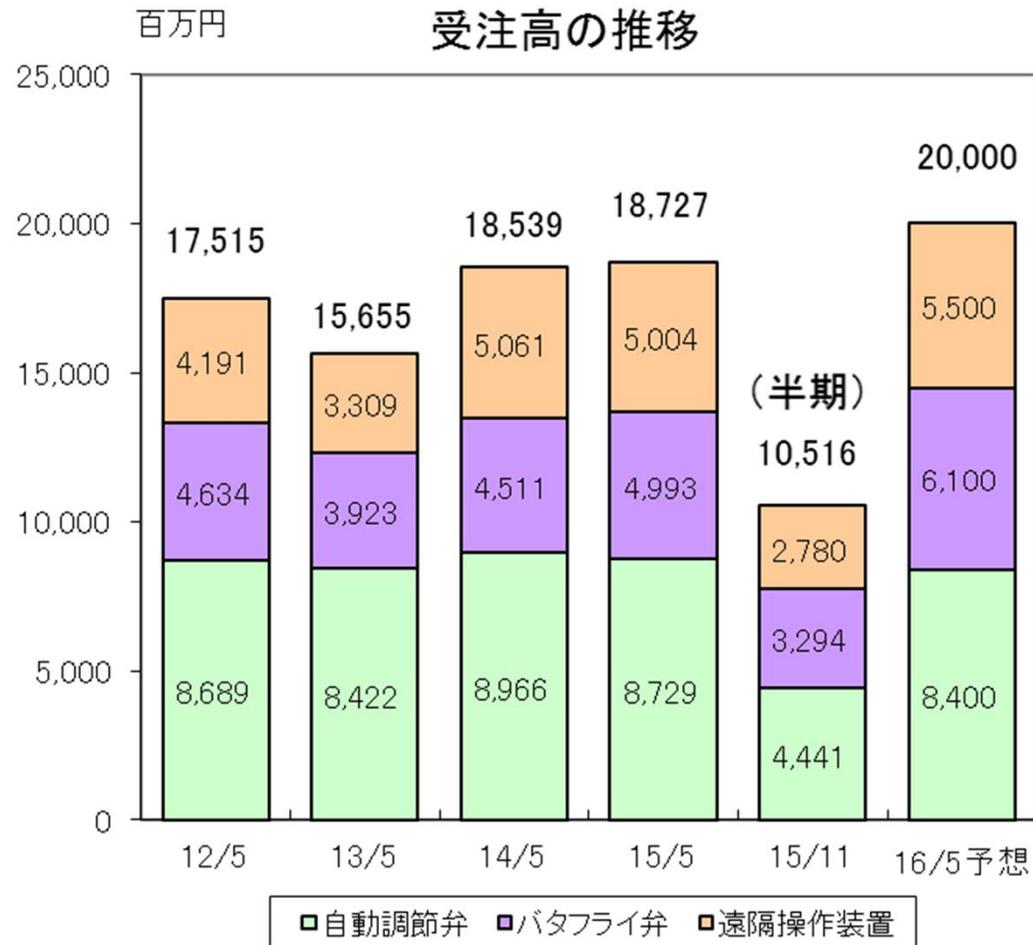
## 見込み

単位：百万円、%、円

	15/5	16/5	前年同期比		期初計画
			増減	同率	
売上高	16,768	19,000	2,231	13.3	16,800
営業利益	780	1,150	369	47.4	780
経常利益	963	1,340	376	39.1	960
当期純利益	595	900	304	51.2	645
一株当たり利益	31.49	47.81			34.12
一株当たり配当金	20.00	20.00			20.00

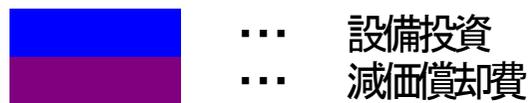
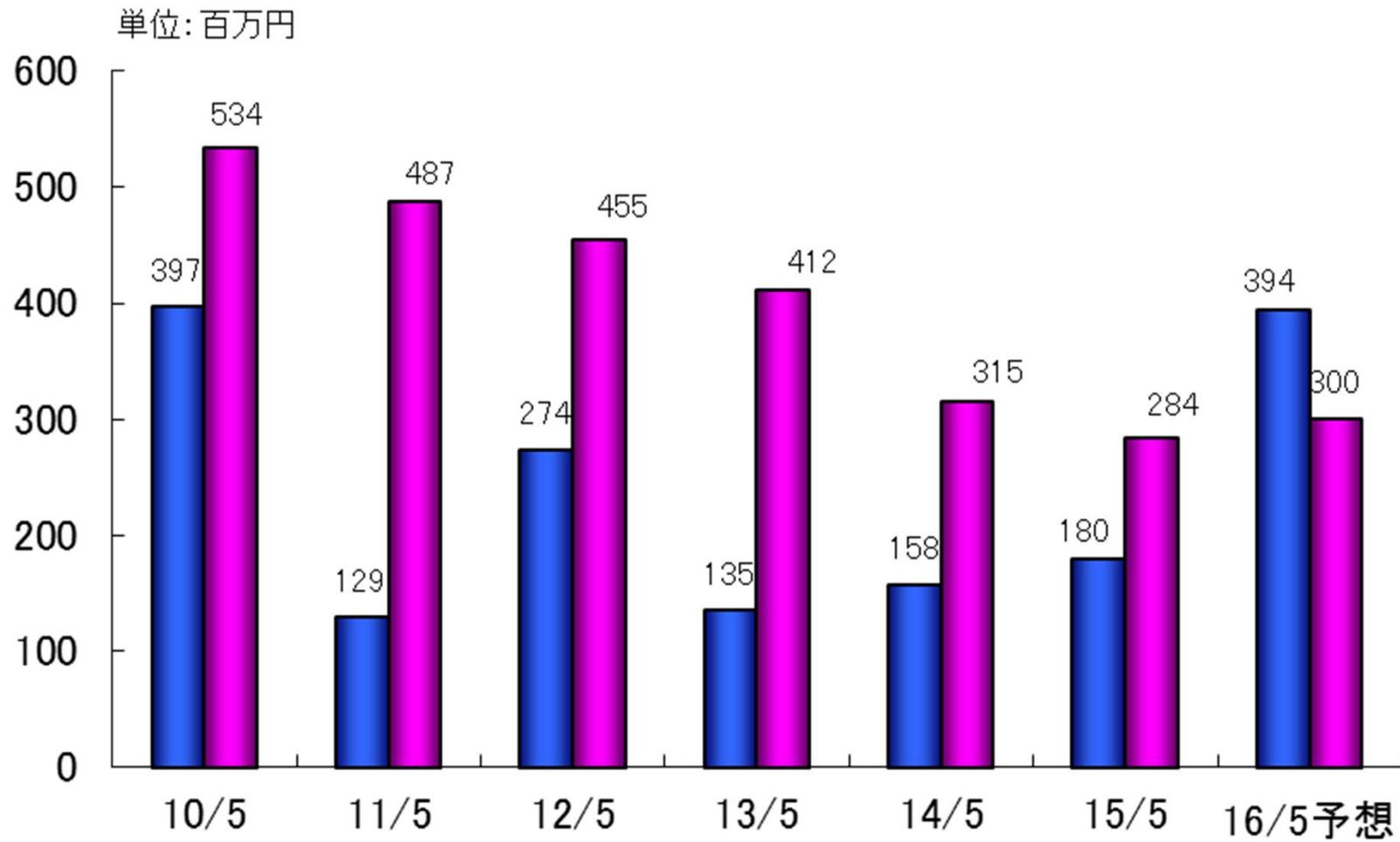
■前年に比べ陸用関連は厳しいものの、船用関連は想定を上回って順調であり、売上高・収益面とも期初計画を見直し上方修正。

## 2. 受注・受注残の見通し



■陸上関連の受注環境は厳しいが、きめ細かな営業活動に注力し、船用関連で海外向も含めた短納期品の受注も取り込み、受注高200億を目指す。

### 3. 設備投資と減価償却費の見通し



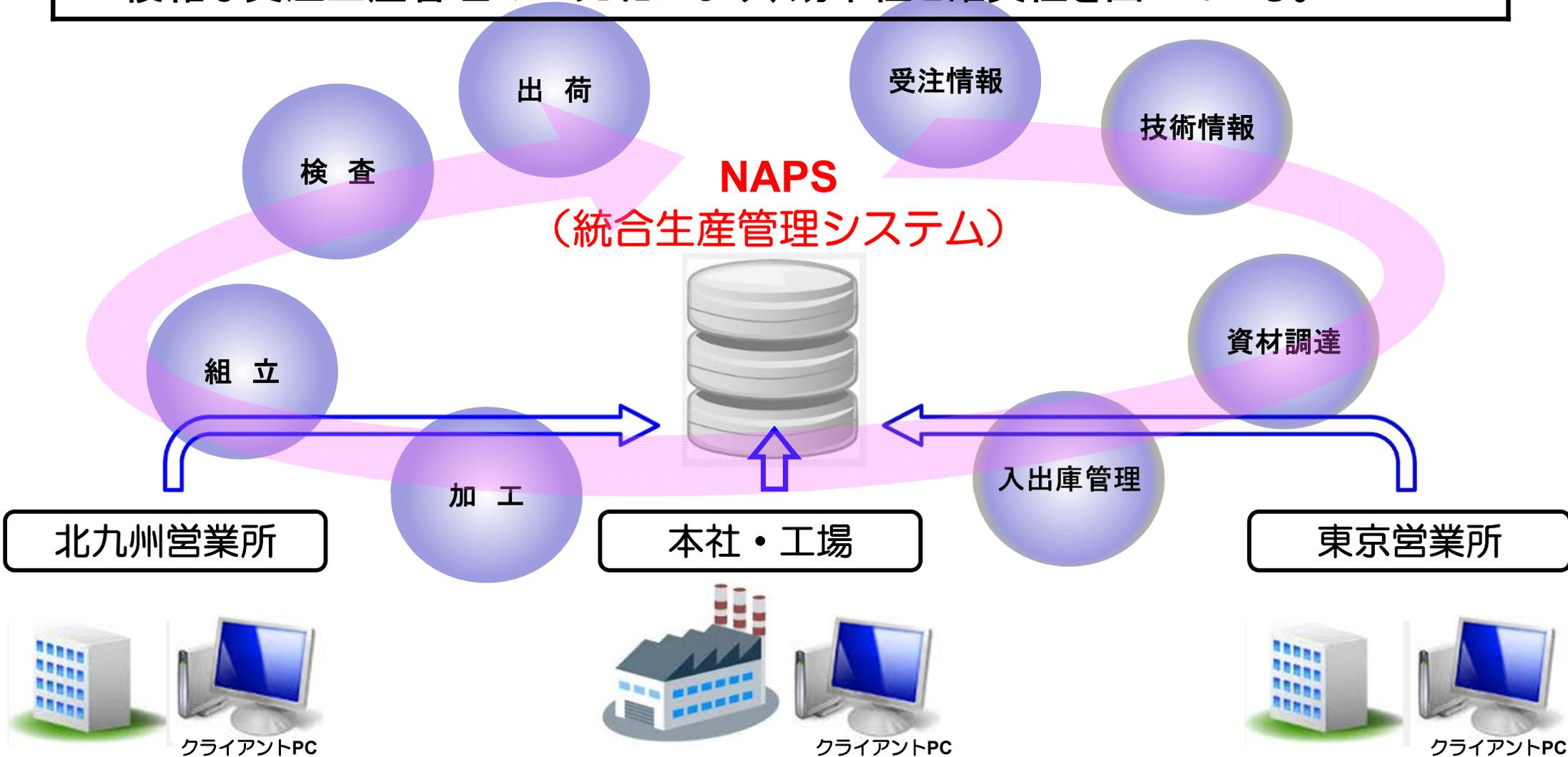


## IV. 今後の展望



# 1. トピックス ①NAPS(統合生産管理システム)縮退機能構築

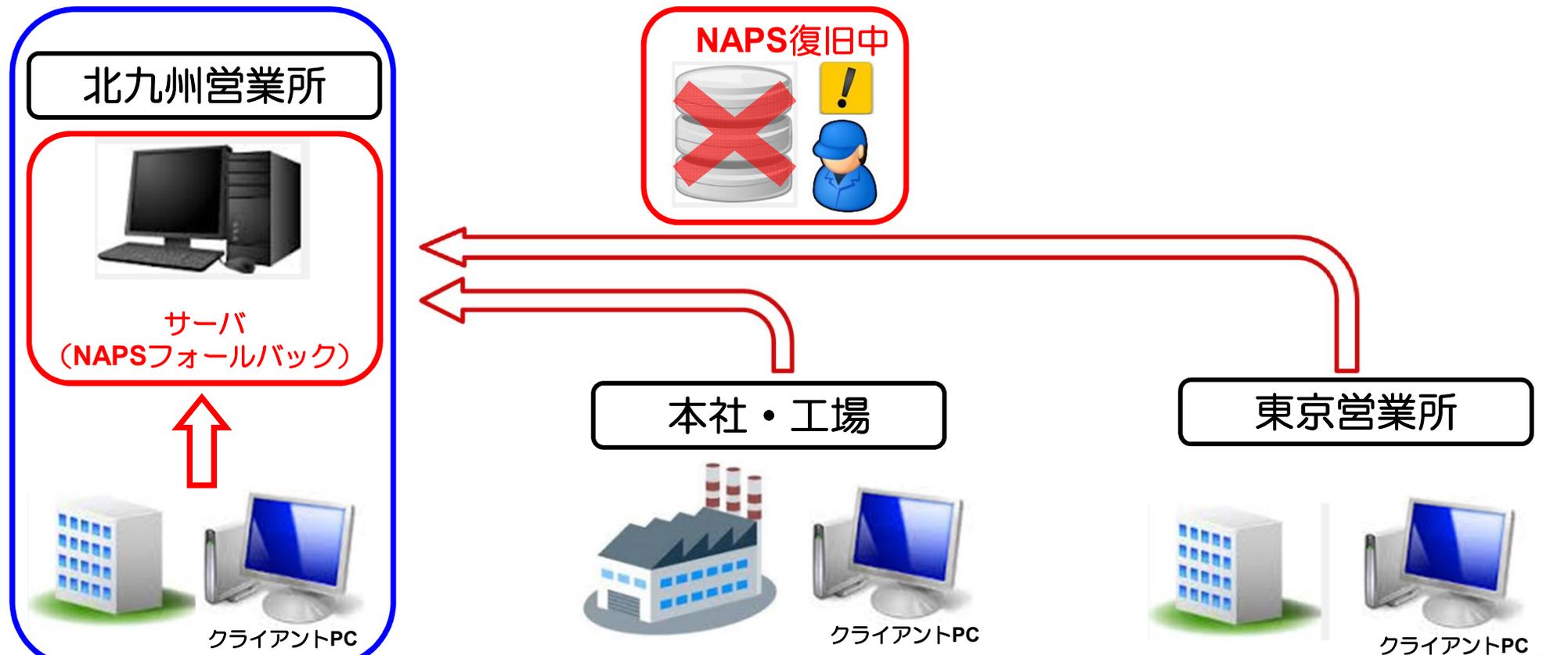
- ・**NAPS**(**NAKAKITA P**roduction **C**ontrol **S**ystem)とは  
個別受注生産型のビジネスモデルを支える自社開発の統合生産管理システム。  
複雑な受注生産管理の一元化により、効率性と確実性を図っている。



# ①NAPS(統合生産管理システム)縮退機能構築(つづき)

- ・万が一NAPSに障害が発生した場合に備え、北九州営業所にサーバを設置し、障害発生時からNAPSの本格復旧までの期間、**縮退運転によるNAPSの使用**を可能とする**機能**を構築した。

## NAPS(統合生産管理システム)障害発生から本格復旧までの代替運転時



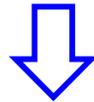
## ②最重要の加工機械を止めないための取組み

多種多様な加工機械を能力などの生産性や汎用性に基づく、グレードAからCまでのランク分け



ランク分けに応じた

- ・保守点検や予防保全
- ・優先稼働のための管理(人員配置を含む)



加工における納期厳守、リードタイム短縮とコストダウン  
障害発生時のリスク軽減策の実施

グレードA	大型NC旋盤、小型NC旋盤、 マシニングセンタの各1機械
グレードB	NC旋盤9機械、マシニングセンタ3機械、 汎用旋盤2機械、ボール盤2機械
グレードC	その他

目標 稼働率100%



## 2. 中長期的な経営戦略～

### 【当社の企業価値】

1. 熟練した技術を有する人的資産及び高度な品質管理体制に裏打ちされた高度な技術力・品質管理能力
2. 長年にわたる顧客との強固な関係
3. 創業以来、脈々と生き続ける「フロンティア・スピリット」(進取発展)

### 企業価値確保・向上への取組み

#### 生産性向上活動

- ・継続的な製造強化のために生産性向上に関する改善への取組みを行い、変化への機敏な対応ができる体制づくり

#### 原価低減活動

- ・品種ごとのコスト分析、設計や工法見直し等によるコストダウンへの取組み
- ・不適合・ムダの排除による原価低減

#### 開発提案型の営業活動

- ・常にお客様とコミュニケーションを取りながら、他社より一歩先んじた提案のできる顧客ニーズに基づく開発提案型の企業を目指す

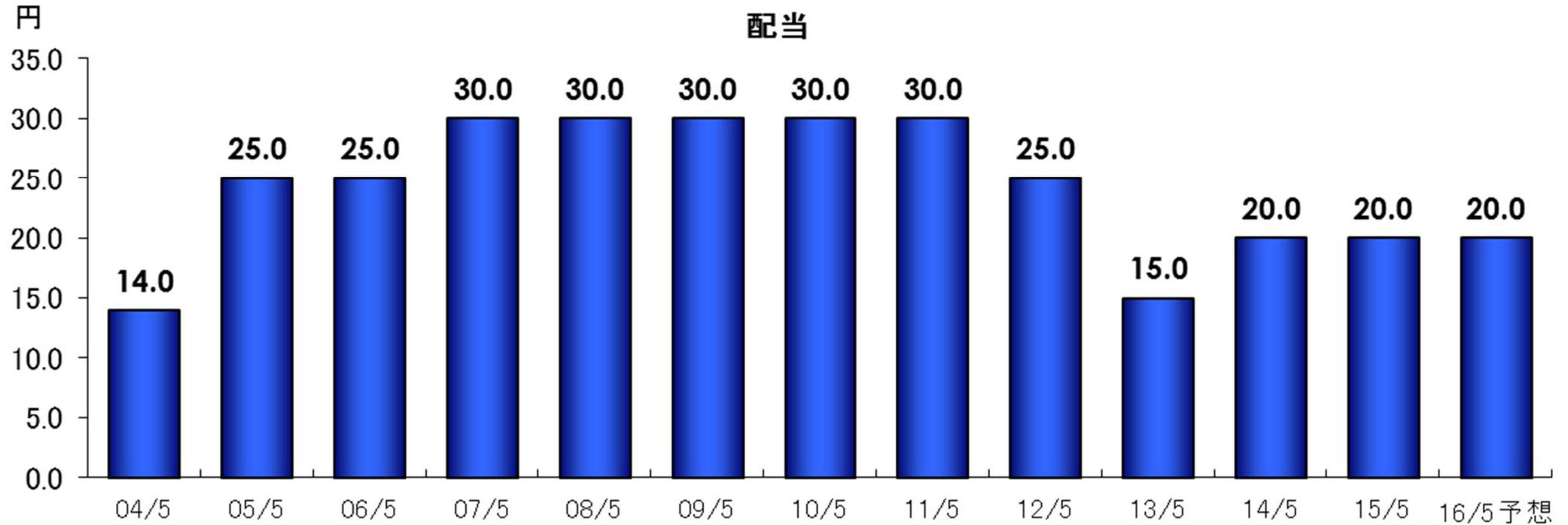
#### 人材育成

- ・技能レベルアップと技能伝承

信頼されるものづくり企業としての勝残り

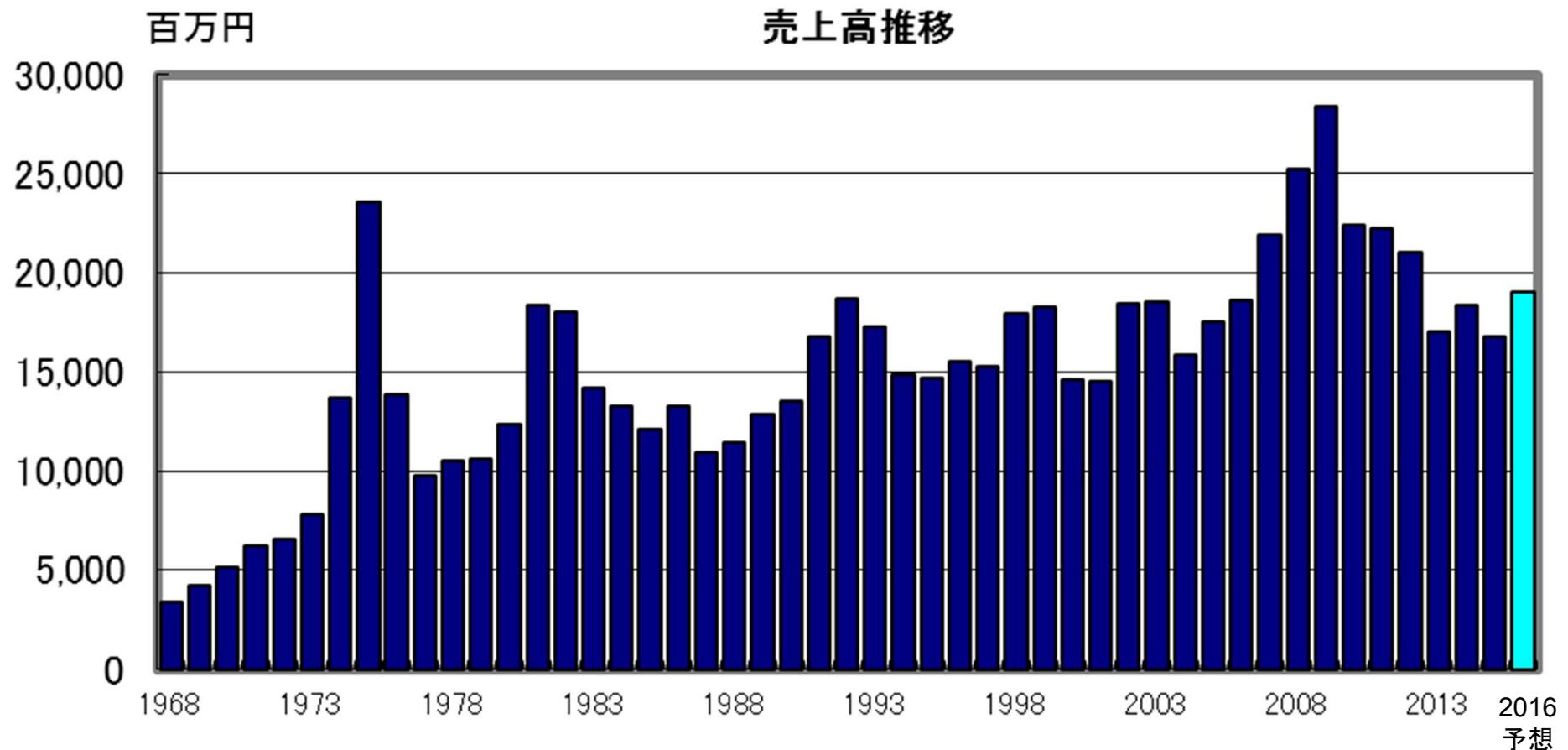


### 3.配当実績・予想



## 4. まとめ

■主に造船業界におきましては、短納期的な受注は取り込んでいるものの、中長期の見通し難で価格競争も厳しい状況が続いています。このような環境のなか、一段の営業努力と生産性向上活動により、**信頼されるものづくり企業**として、計画の達成を目指す所存であります。





# V. コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
売上高	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	19,000
営業利益	1,921	1,753	588	1,349	780	1,150
営業利益率	8.6	8.4	3.5	7.3	4.7	6.1
経常利益	2,023	1,902	771	1,528	963	1,340
経常利益率	9.1	9.1	4.5	8.3	5.7	7.1
当期利益	1,145	1,042	468	917	595	900
当期利益率	5.2	5.0	2.8	5.0	3.6	4.7
総資産	24,243	24,791	23,828	25,298	25,346	
株主資本	17,952	18,420	18,456	18,976	19,024	
株主資本比率	74.1	74.3	77.5	75.0	75.1	
株主資本利益率	6.4	5.7	2.5	4.8	3.1	
1株当たり利益	59.8	54.5	24.4	48.3	31.5	47.8
1株当たり配当金	30.0	25.0	15.0	20.0	20.0	20.0



単位:百万円

陸船別売上	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
陸用売上	5,242	5,492	5,992	5,905	5,542	5,400
船用売上	16,985	15,480	11,019	12,481	11,225	13,600
合計	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	19,000

品種別売上	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	8,135	7,697	8,863	8,935	9,126	9,300
バタフライ弁	7,535	7,214	4,593	4,718	3,773	4,800
遠隔操作装置	6,557	6,061	3,555	4,733	3,868	4,900
合計	22,228	20,973	17,012	18,387	16,768	19,000

生産	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	8,122	7,738	8,700	8,792	9,061	9,300
バタフライ弁	7,524	7,241	4,514	4,642	3,746	4,800
遠隔操作装置	6,528	6,086	3,487	4,657	3,840	4,900
合計	22,175	21,066	16,702	18,092	16,648	19,000

受注	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	7,312	8,689	8,422	8,966	8,729	8,400
バタフライ弁	5,552	4,634	3,923	4,511	4,993	6,100
遠隔操作装置	4,639	4,191	3,309	5,061	5,004	5,500
合計	17,505	17,515	15,655	18,539	18,727	20,000

受注残	11/5	12/5	13/5	14/5	15/5	16/5予想
自動調節弁	3,943	4,935	4,494	4,526	4,128	3,228
バタフライ弁	6,031	3,450	2,781	2,574	3,794	5,094
遠隔操作装置	4,577	2,707	2,461	2,789	3,926	4,526
合計	14,551	11,093	9,737	9,890	11,849	12,849



・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。